

がんになった人は、どんな気持ちで治療ちりょうを受けながら生活しているのでしょうか。また、身近な人ががんになったとわかったとき、私たちはどう接することができるのでしょうか。事例を基に考えてみましょう。

事例①

親友は、私のがんであることを知っていますが、以前と変わらず楽しい時間を一緒にいっしょ過ごして、患者かんじゃであることを忘れさせてくれます。

●この事例で気が付いたこと、考えたことを書いてみよう。

.....

.....

.....

事例②

がんの治療ちりょうを受けながら仕事を続けています。励はげましてくれる人、休んだほうがよいのではと言う人など、いろいろな人がいることに気が付きました。

●この事例で気が付いたこと、考えたことを書いてみよう。

.....

.....

.....

事例③

がんであることがわかり、抗がん剤こうがんざいでの治療ちりょうを受けています。中学生になる自分の子に言うべきかどうか悩なやんでいます。

●この事例で気が付いたこと、考えたことを書いてみよう。

.....

.....

.....